

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童通所支援事業所 ぼけっと		
○保護者評価実施期間	R6年10月28日		～ R6年 11月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	R6年 11月 11日		～ R6年 11月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 1月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員配置について、資格要件、実務経験、職員数ともに大変手厚い配置が実現出来ており、支援が充実しています。	日々ミーティングにて職員全員でアセスメントを行い、利用者それぞれ個別に必要な支援、支援内容について共有し、支援を行っている。また、各職員がきめ細やかなかわりについての意識を高く持ち、対応しています。	ミーティングや会議等で活発な意見交換を行い、支援の充実についての意識付けを行います。また、職員の更なるスキルアップを目指し研修受講の機会を設けてまいります。
2	全体活動に使用するプレイルームに加えて個室が7部屋あり、特性に応じて集団・個の空間を提供できています。	環境を最大限に生かして、ひとり一人が安心して落ち着ける空間、時間であるように個別に配慮、工夫をしています。	引き続き、環境を活かした安心、安全な空間を提供します。
3	定期的に全職員でモニタリングを行い、現状の様子、成長段階に合わせて支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っています。	ミーティング他、全職員で様々な情報を収集した上で利用児のアセスメント、分析を実施し、多角的な視点をもって児童発達管理責任者が支援計画の作成、見直しを行っています。	今後も、ひとりひとりの利用児に対して全職員が理解を深め、チームで意見を出し合い必要な支援を行ってまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	現在は、保育所、認定こども園、幼稚園、放課後児童クラブ、児童館との交流、その他の地域の子どもと活動する機会を持っていません。	感染症流行下であることが、交流を行いくい大きい要因のひとつであると思います。その他にも、それぞれの機関の活動時間が異なり時間が合わせにくいこと、交流に際しての移動問題などが挙げられます。	諸機関との交流について、検討をしております。
2	家族の方との面談、相談に応じ、必要な助言等させていただいておりますが、家族保護者向けの研修等については実施していません。	日々、個別に、必要に応じて具体的な助言をさせていただいており、保護者全体に向けての研修については開催はしていません。また、開催日時や研修内容など、保護者の皆さん誰もの都合や満足を考えてなかなか難しいということも要因として挙げられます。	今後、研修機会を設けるかについて、保護者のニーズを把握し、検討してまいります。
3	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを全て策定し、訓練の実施を行っています。契約時に重要事項説明書で保護者に説明を実施していますが、保護者側の周知に至りにくい現状があります。	全てマニュアルを作成し、マニュアルに基づいて研修や訓練を実施し備えていますが、マニュアル策定、訓練実施現状の説明が不十分であったのではないかと考えられます。	契約時に、各種マニュアルを揃えて提示し、マニュアルについて、また訓練についても説明時間を今までよりもしっかりと取ります。あわせて、安全計画の説明についてモニタリング実施時に行い、不明な点がないか確認します。